

# 新山下駅周辺地区 市街地整備事業



所在地：宮城県亶理郡山元町  
 工事場所：宮城県亶理郡山元町浅生原地内  
 主：山元町  
 工：フジタ・大豊・橋本店特定建設工事共同企業体  
 竣工：2016年5月

S406



山元ゆるキャラ  
「ホッキーくん」

東日本大震災によって大きな被害を受けた宮城県亶理郡山元町では、現在復興計画が進行中です。内陸移転されるJR常磐線の新駅を中心として、被災された方々の生活再建のための市街地整備が行われ、駅前広場や道路、公園等にLED器具が採用されました。

## 東日本大震災で多大な被害を受けた後、生活再建の受け皿として新市街地を整備

平成23年の東日本大震災において震度6強を観測した宮城県山元町では、高さ12mを超える巨大津波により、町の約40% (約24km<sup>2</sup>) が浸水し、交通網や基幹産業が壊滅的な被害を受けました。亡くなられた方は636人、家屋の全壊は2,217棟 (うち流出1,013棟)、半壊、一部損壊などを含めると4,400棟を超える家屋被害となりました。また、農地の約60% (約1,400ha) が浸水し、町の三大ブランドのうち丘通りの山元リンゴを除く、仙台イチゴ、山元ホッキが壊滅的な被害を受けました。震災の大きな爪痕が残った町では、若者からお年寄りまですべての世代が便利で快適に暮らせるコンパクトシティの理念のもと、被災された方々の生活再建の受け皿として町内3か所に、新しい町づくりを進めてきました。

## 着実に復興・再生が進むなか、新市街地にLED器具を採用

山元町では「キラリやまもと!みんなの希望と笑顔が輝くまち」を合言葉に、災害に強く、安全・安心に暮らすことができ、人とのつながりを大切に作る町づくりを、町民と行政が協働して行っています。町内では3つの市街地づくりが進み、そのひとつが新山下駅周辺地区整備事業です。JR常磐線は内陸に約1km移設され、新駅の西側には新たな居住지가展開されています。この市街地は山元町復興のシンボルとなり、新駅とともに町の顔になるような計画が立てられました。新たに造成した地盤は盛土によって嵩上げされ、将来万一津波がきたとしても、安全が確保できるようにしています。

駅前にはロータリーや駐輪場、広場、商業地などが整備され、駅前交差点の道路照明は適正な照度を確保するための新型LED道路灯 (H=10m) が円滑な交通を誘導しています。駅前広場やつばめの杜中央公園には、下方向主体の全方向配光タイプのLED街路灯 (H=4.5m) が採用され、住民が安心して暮らすための環境を創出。居住地エリアでは、消費電力16.5WのLED街路灯20VAが電柱 (H=4.5m) に共架され、行き交う人々の安全・安心をサポートしています。

平成28年12月10日にはJR常磐線の運転再開が予定され、山元町は、復興・再生に向けて着実に一歩ずつ歩み続けています。



新山下駅前ロータリーの道路照明 地上10m高の新型LED道路灯を設置し、車の流れを円滑に誘導



駅前広場に設置されたLED街路灯 (H=4.5m)



駅前駐車場に採用されたLED駐車場用照明 (H=4.5m)



道路交差点に採用された新型のLED道路灯 (H=10m)



生活道路の電柱に共架されたLED街路灯



つばめの杜中央公園に採用された下方向重視の全方向配光形LED街路灯

### 主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
道路	LED道路灯	LEDW-08105N(H)	11	LED 消費電力: 82W
交差点	LED道路灯	LEDW-08115N(H)	27	LED 消費電力: 82W
公園	LED街路灯	LEDG-10809N(K)	14	LED 消費電力: 94W
駐輪場	LEDライン器具	LEDL-06901W	15	LED 消費電力: 8.6W
バスシェルター	LED小形角形投光器	LEDS-02906NW	8	LED 消費電力: 24W
居住地	LED街路灯	LEDK-70927WNP	134	LED 消費電力: 16.5W